

まもる一む福岡の「交流・活動の支援」をお伝えする

環境活動 NEWS 12号

まもる一む福岡は、NPOや市民団体の環境活動を応援するため、交流やネットワークの場づくり、情報発信などを行っています。

環境活動 NEWS12号では、2026年度に実施したイベント等の様子をお届けします。

環境の
小さな
一歩

カタツムリの世界の描き方

環境の
小さな
一歩

ごみ拾いが渡り鳥を守る

環境の
小さな
一歩

草の根炭焼きで脱炭素 ~バイオ炭がつなぐ
人と地域と未来~

活動発表会
プラス1

ごみ拾いから SDGs へ

環境のための小さな一歩シリーズ 1

2025年9月23日(火祝)

「カタツムリの世界の描き方」講師：野島智司さん(ネイチャーライター)

ゲスト／野島智司さん



執筆活動のほか、自然体験やあそびの場づくりに取り組む「マイマイ計画」を主宰されています。

環境活動に取り組む団体や個人等の交流・連携を行う「環境のための小さな一歩シリーズ」。第1回のゲストはネイチャーライターの野島智司さん。昨年出版された新刊「カタツムリの世界の描き方」の内容にふれながら、カタツムリのことや、カタツムリの生態を通して気づく私たち自身のことなどお話しいただきました。

後半は野島さんに質問したり、自分で考えたオリジナルマイマイのイラストを紙に描いたり…。お子さんから発表された個性的なマイマイに笑ったり、野島さんの詳しい解説に聞き入ったり、和やかな雰囲気を楽しみました。

野島さん家のカタツムリも登場



当日の動画

→ 新刊「カタツムリの世界の描き方」



→ 野島さんへの質問「せんめつしそうなかたつむりは？」



まもる一む福岡アドバイザーのコラム

日頃、親子の方や児童・生徒の皆さんのご利用が多い「まもる一む福岡」ですが、このNEWSでご紹介するように、環境活動に取り組む団体の皆さんや一般の大人の方向けの交流と学びの場も開催しています。いろんな人たちが集まり言葉を交わすことで、「次、参加しますね」とか「なるほど、

それやってみます」といった出会いや気づき生まれる。

お茶とお菓子を囲んでおしゃべりする時間には、そんな力があると感じます。

発信や交流の場としてぜひご利用ください！

(NPO 法人グリーンシティ福岡・志賀)



環境のための小さな一歩シリーズ 2

2025年11月3日(月祝)

「ごみ拾いが渡り鳥を守る」 講師：服部卓朗さん (NPO 法人ふくおか湿地保全研究会 代表)

ゲスト / 服部卓朗さん



長年、多々良川ほか東区の湿地や河川で野鳥の調査・保全活動を続けられています。

シリーズ第2回のゲストはNPO 法人ふくおか湿地保全研究会代表の服部卓朗さん。毎月行っている多々良川での清掃活動やクロツラヘラサギのこと、捨てられた釣り具によって傷つく野鳥たちのお話など…。

お茶休憩の後は、グループに分かれて感想や情報交換などの交流タイム。服部さんからは「人間も生きものも同じ地球で暮らす仲間。隣人愛を持って大事にしよう」という温かいメッセージをいただきました。



市内3河川で回収された水辺のごみ



ごみにひっかかってヘラサギが折れたクロツラ



現在も東区役所で頑張っています

青葉環境活動推進会議

福岡市東区にある青葉校区で活動する「青葉環境活動推進会議」から岩崎和枝さんにお話をいただきました。小学校の下校時間、子どもたちに声を掛けながら校区のごみを拾います。岩崎さんはごみ拾い SNS アプリ「ピリカ」を活用されています。ピリカで「青葉環境活動」さんを探してみてください。



岩崎和枝さん

鮮やかなグリーンスタッフが目印



福岡講倫館高等学校

昨年、第12回福岡市環境行動賞 最優秀賞を受賞された福岡講倫館高等学校からボランティア同好会のみなさんに発表していただきました。

校内や地域清掃などを同好会で企画、全校生徒に呼びかけるなどして学校全体を巻き込んだボランティア活動を続けられています。発表では部員が考えた福岡×SDGs プロジェクト「福岡の屋台文化をエコにする」のアイデアを紹介してくださいました。



ボランティア同好会のみなさん



百道浜 ラブアースクリーンアップに参加



「屋台クリーンアップ大作戦」

目的：福岡の屋台や街をきれいにする
 ・環境にやさしい容器の導入
 ・ゴミの分別・リサイクル
 ・屋台と地域住民の協力で清掃活動

活動発表会プラス1

2026年3月7日(土)

「ごみ拾いからSDGsへ」

発表団体： ポイZERO 協議会 ・ 青葉環境活動推進会議 ・ 福岡講倫館高等学校

SDGsの目標の「12. つくる責任、つかう責任」「14. 海の豊かさを守ろう」「15. 陸の豊かさを守ろう」などにつながる、ごみ拾い活動。この日は三つの団体をお招きし、活動のきっかけや感じていることなどお聞きしました。後半のお茶休憩と交流タイムもお話が熱気がありました。

まもる一む福岡でもペットボトルキャップの回収が始まりました！

ポイZERO 協議会 (CODOMARE+CUL 協会)

ビーチクリーン団体「CODOMARE」と陸のごみ拾い団体「CUL 協会」が一緒に起ち上げた「ポイZERO 協議会」。ポイ捨てZEROの街を目指して、主に福岡市西区のビーチや公園でのごみ拾い活動など、気楽に・楽しく・身近にできる活動を続けています。その一環で、現在、ペットボトルキャップの収集にチャレンジ中！ぜひご協力ください。



CODOMARE 代表 大竹美典さん



CUL 協会 代表 廣瀬さやかさん



ポイ捨てZEROの街づくり



ポイZERO 協議会 Instagram



感想の一部をご紹介します

- ・ 外の世界、色々な取組みを知れた！
- ・ ごみを「捨てる」のではなく「隠している」
- ・ 身近なゴミが少ないのはみんなのおかげ！
- ・ ごみ拾い活動は地域の安全につながっている



外の世界、色々な取組みを知れた！
 昔思ってたより、高次な知識が学べた。
 身近なゴミが少ないのはみんなのおかげ！
 ごみ拾い活動は地域の安全につながっている



「草の根炭焼きで脱炭素 ~バイオ炭がつなぐ人と地域と未来~」

講師：深澤義則さん(温室効果ガス削減推進市民ネットワーク)

ゲスト／深澤義則さん



安全管理講習や、国産メンマづくりなどにも取り組まれています。

シリーズ第3回のゲストは、長野県からいらっしゃった温室効果ガス削減推進市民ネットワーク代表の深澤義則さん。炭焼きがなぜ脱炭素につながるのかわかりやすくお話くださった後、各地で行われている炭焼き事例や、できた炭が土壌改良材や畜産業の脱臭材として活用されていることをご紹介いただきました。

深澤さんは、木や竹、剪定枝などの未利用資源の炭焼きが広がり、草の根的な活動で二酸化炭素が削減されるよう、普及活動に取り組まれています。後半の交流タイムでは、福岡周辺で炭焼きに関心ある皆さん同士で意見交換が盛り上がりしました。

会場に持ってきてくださった無煙炭火器



小型タイプ



活動継続のために重要な6つのポイント



書籍コーナー ことができました!

まもる一む福岡で行われたイベントのゲスト講師や、福岡市近郊で環境活動をされている方の書籍を紹介しています。館内の書籍は1人3冊まで無料で貸出していますので、ぜひご利用ください。

福岡市保健環境学習室「まもる一む福岡」では、NPOや市民団体などによる環境活動を応援するための交流やネットワークの場づくり、情報発信などの取り組みを行なっています。環境活動に関心のある皆さん、活動に取り組むNPO等の皆さん、ぜひお気軽にご相談・ご参加ください。

皆さんの環境活動を応援しています!

活動発表会プラス1

環境のための
小さな一歩シリーズ

情報の収集・発信



福岡市保健環境学習室

まもる一む福岡
MAMOROOM FUKUOKA

住所 〒810-0065 福岡市中央区地行浜2丁目1-34
電話 092-831-0669
開館時間 10:00 ~ 17:00
休館日 月曜・火曜 (休日の場合はその直後の平日)
年末年始 (12/28~1/4)